

(様式2)

単独運転防止方法の概要

メーカー名	(株)正興電機製作所
形式	ESK-I03B10-C

同様の方式を採用している形名	ESK-I03B10- α 2、ESK-I03B08-A、ESK-I06B10-B ESK-I1.5B07-T、ESK-I1.5B07-H ESK-I03L12-A、ESK-I03L12-B、ESK-I03L12-B1
----------------	--

項目	受動的方式	能動的方式	
1.方式名称	電圧位相跳躍	周波数シフト	
2.基本原理	系統側の電圧波形の周波数を計測し、系統停電時発生する電圧位相の変動を監視する。	出力周波数にバイアスを与えておき、連系点の変化を検出する。	
3.回路方式 または 制御フロー	系統電圧のゼロクロスーゼロクロス間の時間を計測する。 直前8サイクルの時間の平均を計算し、 今回のサイクルの時間と比較する。 その差が規定以上の差であることで 単独運転を検出する。	系統電圧波形1周期の時間を計測する。前回1周期の時間と今回1周期の時間を比較して前回1周期時間 \leq 今回1周期時間の場合、今回1周期時間 $<$ 次回1周期時間になるようにインバータの出力周波数を調整する。 系統電圧波形1周期の時間を計測する。前回1周期の時間と今回1周期の時間を比較して前回1周期時間 $>$ 今回1周期時間の場合、今回1周期時間 $>$ 次回1周期時間になるようにインバータの出力周波数を調整する。 単独運転が発生した場合、上記動作を繰り返すことによりOFRで設定したレベル以上、UFRで設定したレベル	
4.整定範囲	$\pm 0.1 \sim 5.0\%$	出荷時整定 UFR 48.0/48.5/49.0/49.5(57.6/58.2/58.8/59.4)Hz OFR 50.5/51.0/51.5/52.0(60.6/61.2/61.8/62.4)Hz	出荷時整定 49.0(58.8)51.0(61.2)Hz

